

沖縄本島の中部に位置する西原町が、地元の農業とそれにまつわる営みの魅力を発信・創出できる複合施設を町役場隣接地に開設しました。大屋根が印象的な建物は、自然の素材感が意識されたシンプルなつくりとなっており、活気がありながら落ち着けるような、優しい空間が LED 照明器具により演出されています。

地元農水産業の発展や 6 次産業化および地域観光資源の開発などを目指してつくられた西原さわふじマルシェ。町の伝統文化である五穀豊穡を願う綱引きをモチーフにした大屋根が目を引き建築で、地場産の新鮮な野菜や海産物、肉などを直売する市場、飲食店、町の歴史や観光スポットを紹介するギャラリー、劇場などが同居。グルメや観光、イベントなどが楽しめる複合施設です。



【物件概要】
所在地：沖縄県中頭郡西原町字小波津 480 番地
面積：8311.65 m² (敷地)、2303.43 m² (建築)、2187.93 m² (延床)
構造規模：鉄骨造、平屋建
施主：西原町
設計・監理：(株)国建
設計協力：(株)ニライ設備設計
施工：建築／(株)大成ホーム・(株)明生建設 JV／三善建設(株)
電気／(株)佐久川電研・(株)比嘉電工 JV
機械／国和設備工業(株)・(株)秀開発工業 JV
外構チャレンジショップ：(株)照正組・(株)明生建設 JV
竣工：2020 年 11 月



直売所（うんたま市場）の照明風景 9 系統のライティングレールを設置し、2700K の LED ペンダントライト①と 4000K の LED スポットライト②を接続。

ライティングレールを効果的に使い、公施設として照明のフレキシビリティを確保。

向かって左に直売所、右にレストラン、レンタルキッチン、観光機能を配置した建物は、近づくにつれて「自然」「手仕事」「土」「エイジング」などが感じられる素材感を意識した建築設計となっており、中央にピロティを設けることで、動線のわかりやすい開放的な空間となっています。照明設計では公設の商業施設であることから、特殊な仕様の器具を用いず、それぞれのスペースで照明演出に独自性を持たせられるようライティングレールを多用し、自由度を確保。器具交換やオリジナリティを出すための新規器具の接続を容易にしています。

レイアウト変更やイベント開催を前提に無柱空間とした直売所は、素朴な雰囲気を作り出すため天井全体に木格子を張り巡らせ、ベース照明に加えて LED スポットライトと LED ペンダントライトの組み合わせにより、売り場としての賑やかさを演出。木格子の間から垂れる LED ペンダントライトは、西原町の町花木であるさわふじ（サガリバナ）をイメージして採用しました。ライティングレールは色温度ごとに系統分けすることで、スイッチでシーンの切り替えができるようにしています。



(左) LED 一体形スポットライト②
(右) LED 電球ペンダント①



中央ピロティ（さわふじ広場） 大きな開口とすることで圧迫感の軽減を図ったピロティは、スペース全体が明るくなるように計 12 台の電球色 LED 小形投光器④（写真右壁）を採用。



レストラン店内 スケルトン天井に大きな長方形のライティングレールを設け、LED ペンダントライト①と LED スポットライト②を配置。



レンタルキッチン メンテナンスがしやすいように露出させた機械設備やダクト、ライティングレール。



外壁の照明 3000K の LED 小形投光器④で左官仕上げの壁を照らし「土っぽさ」を強調。創り出された縦ラインにより、建物全体のスケール感も演出。

主な掲載器具一覧				
設置場所	器具名 (品種名)	台数	台数	備考
屋内	① LED電球ペンダント レール用プラグタイプ+ボール電球形ランプ	LEDP88140(W)R+LDG11L-G/100W	129	消費電力:11.4W
	② LED一体形スポットライト3500シリーズ HID100形器具相当 広角タイプ	LEDS-35113W-LS1	176	消費電力:35.0W
ピロティ・外壁	③ LED小形角形投光器 400W形水銀ランプ器具・250W形メタルハイドランプ器具相当広角タイプ	LEDS-13901LW-LJ9	12	消費電力:106W
	④ LED小形丸形投光器 70W形コンパクトメタルハイドランプ器具相当 中角タイプ	LEDS-04801LM-LS9	11	消費電力:38.0W